

令和8（2026）年度

金沢大学法科大学院
（一般選抜・社会人特別選抜）
学生募集要項

【A日程入試】

【B日程入試】

【C日程入試】

（注意）

出願する入学者選抜に関する全ての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

自然災害・感染症等に関する本法科大学院入学試験における対応

今後の状況の変化により、急遽、試験日程、選考方法も含めて変更等が生じる場合があります。その場合は、法科大学院 Web サイト (<https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/>) で通知します。



金沢大学大学院法学研究科法務専攻

〒920-1192 金沢市角間町^{かくままち}

金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）

電話：076-264-5600

F A X：076-234-4167

E-mail：n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

【A日程入試】

出願資格事前審査期間	令和7（2025）年6月12日（木）～6月18日（水） ※社会人特別選抜に出願する場合は、必ず事前審査を申し込むこと。
出願期間	令和7（2025）年7月24日（木）～7月30日（水）17時 ※Web出願システムは、令和7年7月17日（木）9時から事前登録可能です。
受験票印刷可能日	令和7（2025）年8月18日（月）
試験期日（標準コース） （短縮コース） （社会人特別選抜）	令和7（2025）年8月23日（土）
合格者発表日時	令和7（2025）年9月18日（木）16時（予定）
入学意思確認届提出期限	令和7（2025）年10月2日（木）

【B日程入試】

出願資格事前審査期間	令和7（2025）年8月21日（木）～8月27日（水）
出願期間	令和7（2025）年9月18日（木）～9月24日（水）17時 ※Web出願システムは、令和7年9月11日（木）9時から事前登録可能です。
受験票印刷可能日	令和7（2025）年10月8日（水）
試験期日（標準コース） （短縮コース）	令和7（2025）年10月18日（土）
合格者発表日時	令和7（2025）年11月6日（木）16時（予定）
入学意思確認届提出期限	令和7（2025）年11月20日（木）

【C日程入試】

出願資格事前審査期間	令和7（2025）年9月18日（木）～9月24日（水）
出願期間	令和7（2025）年11月6日（木）～11月12日（水）17時 ※Web出願システムは、令和7年10月30日（木）9時から事前登録可能です。
受験票印刷可能日	令和7（2025）年11月19日（水）
試験期日（標準コース） （短縮コース）	令和7（2025）年11月29日（土）
合格者発表日時	令和7（2025）年12月22日（月）16時（予定）

【A～C日程入学手続期間】

入学手続期間	令和8（2026）年1月5日（月）～1月15日（木）
--------	----------------------------

※入学手続について

A又はB日程合格者については、入学意思確認届（所定様式は本法科大学院Webサイトに掲載）を「Ⅱ（共通）8 問合せ先」までメールで提出してください。なお、入学意思確認届の提出がない場合は、入学手続ができない場合がありますので、必ず期限までに提出してください。

また、A又はB日程の標準コース合格者は、当該合格に係る入学手続を待たずに次回（C日程まで）の入試で短縮コースを受験することができます。結果的に両コースに合格した場合は、入学するコースを選んで入学手続をしてください。

目 次

I 法科大学院（一般選抜・社会人特別選抜）

1	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	I-1
2	募集人員	I-2
3	出願資格	I-2
4	出願手続	I-3
5	選抜方法	I-6
6	試験場及び試験日程	I-8
7	出願資格事前審査	I-9
8	心身に障がいがある志願者等の事前相談	I-10
9	合格者発表	I-10
10	入学手続	I-11
11	入学料及び授業料	I-11
12	追加合格	I-11
13	入試情報の開示	I-11

II 共通事項

1	出願手続	II-1
2	受験票の印刷	II-3
3	受験における注意事項	II-3
4	入学手続	II-4
5	授業料等納付金	II-4
6	その他	II-6
7	個人情報の保護	II-9
8	問合せ先	II-9

[I 法科大学院] (一般選抜・社会人特別選抜)

1 入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

法科大学院全体に要請されている社会的意義及び本法科大学院の教育目的・目標を達成するために、以下のような能力・背景を持つ入学者の受入れを本法科大学院の入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー) として掲げます。

(1) 推論能力や論理展開能力等、法学教育に必要となる基礎能力を備えている方

生の事実から法的に重要な事実を読み取り、そこから一定の結論を論理的に導いて行く能力は、法律家にとって何よりも必要なものです。こうした能力は、法科大学院の教育課程においても養われるべきものですが、一朝一夕に修得できるものではないため、限られた時間内で法曹を養成しなければならない現実を考慮すれば、入学以前より一定程度の水準に達していることが法科大学院の入学者にとって必要です。

(2) 「人間と社会に対する健全な関心と判断能力」を有する方

金沢大学法科大学院は、教育目標 (1) において、「法そのものの知識を習得することと同時に、人や社会に対する深い洞察力を養うことで、地域社会の人の立場にたった法律家を養成する。」を掲げていますが、そのためには大学教育あるいは社会の実生活において、常日頃から人や社会に対して健全な関心を有していることが必要です。

(3) 様々なバックグラウンドを有する方

現在、法曹界においては、単なる法律の専門家ではなく、多様な知識を有する人材が求められており、そのことが法科大学院構想の重要な要素として認識されています。こうした現状に鑑み、金沢大学法科大学院においても、法学部出身者に限らず様々な専門的知識や多様な社会経験を有する人材を広く社会に求めることとします。

(4) 法律基本科目に対する基礎的な専門知識を有する方 (短縮コース及び法曹養成プログラム修了者のみ)

短縮コース及び法曹養成プログラムからの入学者に関しては、その制度の趣旨からして、法律基本科目 (いわゆる「実定法科目」) について、一定水準の専門知識を有していることが必要となります。

入学者の選抜に当たっては、標準コースにおいては法律学の知識を必要としない小論文の試験を課すことにより推論能力及び論理展開能力を評価するとともに (上記 (1)), 志願者全員に対して面接試験を行うことにより、様々なバックグラウンドを有する各志願者がこれまでの社会経験等により培った人間と社会に対する健全な関心と判断能力の有無を評価します (上記 (2) 及び (3))。短縮コースにおいては法律基本科目のうち基幹となる憲法、民法、刑法、商法の4科目につき基本的な知識を問う論述問題を課すことにより、法律基本科目に対する基礎的な専門知識と同時に推論・論理展開能力を評価します (上記 (1) 及び (4))。また、短縮コース志願者に対しても全員に面接試験を行うことにより、標準コース志願者と同様様々なバックグラウンドを有する各志願者がこれまでの社会経験等により培った人間と社会に対する健全な関心と判断能力の有無を評価します (上記 (2) 及び (3))。法曹養成プログラム修了者については、法曹養成プログラム対象科目においては論文式の定期試験が課されることに鑑み、法律基本科目に対する基礎的な専門知識及び推論・論理展開能力を有することを学士課程の成績により確認し (上記 (1) 及び (4)), 面接試験により人間と社会に対する健全な関心と判断能力の有無を評価します (上記 (2))。

2 募 集 人 員

標準コース（標準修業年限3年） 6名

（注）標準コースの募集人員には，社会人特別選抜（A日程のみ）の募集人員3名を含みます。

短縮コース（標準修業年限2年） 5名

日程	標準コース	短縮コース	注意事項
A日程	4名程度	2名程度	標準コースの募集人員4名には，社会人特別選抜の募集人員3名を含みます。
B日程	1名程度	2名程度	A日程入試の結果によって，募集人員が増加することがあります。
C日程	1名程度	1名程度	A～B日程入試の結果によって，募集人員が増加することがあります。

※併願について 一般選抜の標準コースと短縮コースは併願できます。

社会人特別選抜と一般選抜の標準コースとの併願はできません。

社会人特別選抜と一般選抜の短縮コースは併願できます。

3 出 願 資 格

次の各項のいずれかに該当する者又は令和8（2026）年3月31日までに該当する見込みの者とします。

- ① 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者
- ② 大学改革支援・学位授与機構により，学士の学位を授与された者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 我が国において，外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者
- ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- ⑧ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者（飛び入学）であって，当該者を本法科大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑩ 外国において学校教育における15年の課程を修了した者，我が国において，外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって，本法科大学院において，所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めたもの

- ⑪ 本法科大学院において、個別の入学資格審査により出願資格①に定める者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達したもの
- ⑫ 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、本法科大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの（飛び入学）

(注) 1 ⑥、⑨から⑫までに該当により出願しようとする者及び社会人特別選抜の受験を希望する者は、「I 7 出願資格事前審査」に基づき出願資格事前審査の申請を行ってください（①から⑤まで及び⑦から⑧までの出願資格による申請の場合は、出願資格事前審査を受けなくても出願できます。）。

2 ⑪については、「短期大学、高等専門学校卒業者、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者」で「22歳に達したもの」が該当します（②及び⑧に該当する者を除く。）。

3 ⑫に掲げる「本法科大学院が定める単位を優秀な成績で修得」とは、大学3年次前期までに卒業所要単位数の70%以上を修得し、かつ、既修得単位の60%以上において「優(A)以上」又は「80点以上」の評価（ただし、合否のみで、評点のつかない科目は除く。）を得ている場合です。

その他、社会人特別選抜においては、次の出願資格も満たす必要があります。

社会人特別選抜：本学入学時において、大学卒業又は大学院修了後1年以上が経過しており、その間に学業以外の活動に従事した経験を有する者（学業以外の活動に1年以上従事した後に大学へ入学した場合は、大学卒業又は大学院修了後1年未満であっても出願資格を満たすものとする。）

4 出願手続

(1) 出願期間

	出願期間 (Web 出願システム)	備考
A日程	令和7 (2025) 年7月24日(木)～7月30日(水) 17時	出願資格⑫は出願不可
B日程	令和7 (2025) 年9月18日(木)～9月24日(水) 17時	
C日程	令和7 (2025) 年11月6日(木)～11月12日(水) 17時	

B日程以降は、社会人特別選抜を行いません。

出願書類は、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に入れ、Web出願システムからA4サイズでカラー印刷した宛名ラベルを貼り、「書留速達郵便」で郵送してください。なお、出願期間後に到着した出願書類については、出願期間内の発信局日付印のあるものに限り受理します。

(2) 出願方法及び出願書類の送付先

「II（共通事項）1 出願手続」を確認してください。

(3) 出願に必要な書類等

各所定の様式は、次のURLからダウンロードして、A4サイズで印刷してください。

<https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/function/boshuyoko.html>



出願書類等		提出該当者	摘 要
Web 出願システムから印刷するもの	① 出願確認票 (提出用)	全 員	Web 出願システム登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷し提出してください。「出願確認票 (確認用)」とは異なるので、注意してください。
	② 宛名ラベル	全 員	Web 出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷したものを送付用の封筒 (封筒は、市販の角型2号封筒) に貼り付けてください。
その他 必要書類	③ 入学志願票	全 員	本研究科所定の様式により作成してください。
	④ 併願校に関するアンケート	全 員	本研究科所定の様式により作成してください。
	⑤ 出願資格を取得した大学の卒業(見込)証明書	全 員	出身大学の学長又は学部長が作成したものを提出してください。複数の学部卒業者又は大学院修了者は、関連する全ての証明書を提出してください。外国語で作成されているものには和訳を添付してください。 また、出願資格⑫に定める(飛び入学)の資格で出願する場合には、在学証明書を提出してください。 なお、「出願資格事前審査」により資格ありと認定された場合及び成績証明書に卒業(見込)年月日が記載されている場合は提出する必要はありません。
	⑥ 出願資格を取得した大学の成績証明書	全 員	出身大学の学長又は学部長が作成したもので、卒業時に修得した全ての単位分について提出してください。 複数の学部卒業者又は卒業に必要な単位を複数の大学・学部において修得した場合(編入学等を含む)は、関連する全ての証明書を提出してください。外国語で作成されているものには和訳を添付してください。 また、出願資格⑫に定める(飛び入学)の資格で出願する場合には、大学3年次前期までに修得した全ての単位分について提出してください(B日程出願者で、証明書の準備が間に合わない場合は、試験日に持参する旨記入してください)。 なお、「出願資格事前審査」により資格ありと認定された場合は提出する必要はありません。
	⑦ 自己評価書	全 員	自己評価書には、以下の内容を必ず記入してください。 なお、作成に際しては、(注)1の書式を厳守してください。 i) あなたは、法曹として必要な資質を何と考えるか。また、その理由は何か。 ii) あなたは、将来どのような法曹になりたいか。そのためには今後何をする必要がありますか。 iii) あなたは、どのような理由で金沢大学法科大学院を選択するのか。 iv) 自己アピールしてください(これまでの自己の経験、学生生活、社会活動などに基づいて具体的に記載してください)。

⑧ 事前提出課題	社会人特別選抜を志願する者	課題図書に基づきレポートを作成してください。 課題図書及び課題は、6月末頃本学Webサイト上に掲示します。 なお、作成に際しては、(注)2の書式を厳守してください。
⑨ 同一人物であることを証明する書類	該当者	婚姻等により改姓・改名した場合は、公的機関が発行する戸籍抄本等の書類を添付してください。
⑩ パスポートの写し及び在留カードの写し	外国人	出願書類には、この証明書等に記載の氏名を使用してください。 日本に在留している外国人は、在留カード(表・裏)の写し及びパスポート(国籍、氏名、性別、生年月日が記載されたページ)の写しを提出してください。 日本に在留していない外国人は、パスポートの写しのみを提出してください。

(注) 1 自己評価書は、次の書式に基づいて i) から iv) までの項目ごとに小見出しをつけて記入してください。書式が守られていない場合には、減点する場合があります。

パソコンで作成する場合は、A4用紙(1行40字×30行設定)2枚、2,000字から2,400字までで作成し、1枚目1行目の中央に「自己評価書」と記入し、2行目右揃えで氏名を記入して、3行目から書き始めてください。

手書きで作成する場合は、A4サイズの400字詰め原稿用紙(横書き)6枚以内、2,000字から2,400字までで作成し、1枚目1行目の中央付近に「自己評価書」と記入し、2行目右端に氏名を記入して、3行目から書き始めてください。

2 事前提出課題のレポートについては、次の書式に基づいて作成してください。

パソコンで作成する場合は、A4用紙(1行40字×30行設定)3枚、3,000字から3,600字までで作成し、1枚目1行目の中央に「レポート題名」(題名は任意)を記入し、2行目右揃えで氏名を記入して、3行目から書き始めてください。

手書きで作成する場合は、A4サイズの400字詰め原稿用紙(横書き)9枚以内、3,000字から3,600字までで作成し、1枚目1行目の中央付近に「レポート題名」(題名は任意)を記入し、2行目右端に氏名を記入して、3行目から書き始めてください。

3 以下の書類を提出する場合は、本学所定の様式「特筆すべき資格等を証明する書類一覧(表紙)」を使用し、一括してクリップ留めにより提出してください。

特筆すべき資格等を証明する書類の写し	加算点の対象となる特筆すべき資格等(I-6頁確認)がある場合に提出してください。
同一人物であることを証明する書類	婚姻等により改姓・改名した場合は、公的機関が発行する戸籍抄本等の書類を添付してください。
学位授与証明書又は学位授与申請(見込)証明書	出願資格②により出願する場合のみ提出してください。
出願資格認定通知書の写し	出願資格⑥、⑨から⑫までのいずれかにより出願する場合及び社会人特別選抜受験者のみ提出してください。

(4) 受験票の印刷

詳細は、裏表紙の入試日程及び「II(共通事項)2 受験票の印刷」を確認してください。

5 選 抜 方 法

標準コース志願者を対象とした試験，短縮コース志願者を対象とした試験及び社会人を対象とした社会人特別選抜を実施します。

なお，後述のとおり標準コースと短縮コース又は社会人特別選抜と短縮コースの併願も可能です。社会人特別選抜と標準コースは併願することができません。

(1) 標準コース

① 本法科大学院が実施する小論文試験，②面接試験及び③自己評価書の審査により総合的に判定します。

試験科目	概 要	評 価
① 小論文試験	法律の専門知識を問わない形で，法学・政治学・経済学など社会科学全般を題材としたテーマにより出題します。	100点 合格最低点を設定します。 また，面接試験が不合格の場合は採点しません。
② 面接試験	自己評価書及び成績証明書をもとに実施します。	合否のみ判定

③ 出願時に提出された自己評価書を審査し，点数を加算します（上限 20 点）。

(2) 短縮コース

① 本法科大学院が実施する法律専門科目試験，②面接試験，③自己評価書の審査及び④特筆すべき資格等により総合的に判定します。

試験科目	概 要	評 価
① 法律専門科目試験	試験に使用する六法は，本法科大学院で準備しますので持参する必要はありません。	25点
憲法		25点
民法		25点
刑法		25点
商法		25点
		各試験科目で合格最低点を設定します。 合格最低点に達しない科目が1科目でもあれば不合格とします。 また，面接試験が不合格の場合は採点しません。
② 面接試験	自己評価書及び成績証明書をもとに実施します。	合否のみ判定

③ 出願時に提出された自己評価書を審査し，点数を加算します（上限 20 点）。

④ 以下のような特筆すべき資格等がある場合，点数を加算します（上限 20 点）。

法律関係の資格： 司法試験又は予備試験の択一試験合格，公認会計士，税理士，司法書士，行政書士，不動産鑑定士，社会保険労務士

その他： 国家公務員試験（総合職・一般職），地方公務員試験（上級）合格

（注）上記以外の特筆すべき顕著な社会的実績については，面接時に確認の上，加算の対象とする場合があります。

⑤ 短縮コースにおいて，条件付合格と判定する場合があります。

憲法、民法、商法、刑法のうち1科目の成績だけが低く、そのために上記①から④までの総合点が合格ラインにわずかに達していなかった場合に、その1科目について単位認定試験を実施し、試験の結果、改めて算出した総合点が合格ラインを超えれば条件を解除する趣旨の制度です。

条件付合格者は後の日程で当該科目の単位認定試験を受験して、これに合格すれば当該科目も含めて法学既修者認定の上、改めて短縮コース合格と判定します。憲法又は商法の単位認定試験の結果が不合格である場合であっても、短縮コース2年次に入学できますが、1年次向けの当該科目を履修しなければなりません。民法又は刑法の単位認定試験の結果が不合格である場合には、履修しなければならない1年次向けの科目の単位数が6単位を超え、1年間に履修できる科目数の上限を超えてしまうため、改めて短縮コース不合格と判定され、入学できなくなります。

また、出願時に希望していなかった場合は適用しません（後述の併願の記入を確認してください）。

(3) 社会人特別選抜（標準コース・A日程のみ）

* 出願に際しては、出願資格事前審査を経る必要があります（I 7「出願資格事前審査」確認）。

- ① 事前提出課題、②口述試験（対面又はオンライン）及び③自己評価書の審査により総合的に判定します。

試験科目		概要	評価
①	事前提出課題	課題図書に基づき作成したレポートを審査します。	100点 合格最低点を設定します。 合格最低点に満たない場合は不合格とします。 また、口述試験が不合格の場合は採点しません。
②	口述試験（対面又はオンライン）	事前提出課題及び自己評価書に関する質疑応答を実施します。	可否のみ判定

- ③ 出願時に提出された自己評価書を審査し、点数を加算します（上限20点）。

社会人特別選抜の口述試験は、金沢大学試験場での対面による試験又はZoomを用いたオンラインによる試験の両形式のうち、どちらかを選択できます。出願の際に入学志願票の記入欄にて、いずれかの形式を選択してください（短縮コースとの併願の場合は対面しか選択できません）。

オンライン試験を選択した受験者には、出願受付後に実施の詳細を通知します。オンライン試験の受験に際しては、インターネットへの接続環境（通信速度10Mbps以上を推奨）と、カメラ・マイク機能（外付けも可）を備えたデスクトップ型又はノート型のパーソナルコンピュータが必要です（スマートフォンの使用は不可）。

(4) 併願

標準コースと短縮コースの併願又は社会人特別選抜と短縮コース併願により受験することができます。社会人特別選抜を受験する者は標準コースとの併願はできません。短縮コースにつき、条件付合格を希望する場合は、その旨、入学志願票に記入してください。なお、後

述のように、条件付合格者は標準コースの合否判定から除外されますので留意してください。

- ・標準コースと短縮コースの併願の場合、標準コース試験の小論文試験、短縮コース試験の法律専門科目試験並びに面接試験を受験します（「I 6 試験場及び試験日程」確認）。
- ・社会人特別選抜と短縮コースの併願の場合、社会人特別選抜の口述試験（対面試験のみ、オンライン試験の選択は不可）、短縮コース試験の法律専門科目試験を受験します（「I 6 試験場及び試験日程」確認）。
- ・入学検定料は標準・短縮・社会人特別選抜いずれかを単願した場合と同じ 30,000 円です。

[合否判定の優先順位]

- ① 短縮コースの合格者を判定
- ② 条件付合格を希望する短縮コース志願者の中から、条件付合格者を判定
- ③ 短縮コース合格者及び条件付合格者を除いて標準コース（社会人特別選抜を含む。）の合格者を判定

なお、標準コース（社会人特別選抜を含む。）の判定にあたり、短縮コースの試験科目（法律専門科目試験）の成績は一切考慮しません。

また、面接試験又は口述試験が不合格の場合、小論文試験・法律専門科目試験及び事前提出課題の採点は行いません。

6 試験場及び試験日程

(1) 試験場

[金沢大学試験場]

金沢大学人間社会第1・2講義棟（金沢市角間町・金沢大学角間キャンパス）

社会人特別選抜（対面形式）は、金沢大学試験場でのみ実施します。

[学外試験場]（東京）

（注）詳細は、出願手続後に送付する「受験上の注意」を確認してください。

【A日程】	金沢	東京
【B日程】	金沢	東京
【C日程】	金沢	東京

(2) 試験日程

標準コース・短縮コースとも同日に実施します。社会人特別選抜はA日程でのみ実施します。

【A日程】	令和7（2025）年8月23日（土）
【B日程】	令和7（2025）年10月18日（土）
【C日程】	令和7（2025）年11月29日（土）

○標準コース

試験時間	10:00～11:30	小論文試験
	11:40～(12:30)	面接試験

○社会人特別選抜（A日程のみ）

試験時間	10:00～(11:30)	口述試験
------	---------------	------

○短縮コース／標準・短縮コース併願／社会人特別選抜・短縮コース併願

試験時間		短縮コースのみ	併願	
			一般選抜（標準）／短縮コース	社会人特別選抜／短縮コース
試験時間	10:00～11:30	/	小論文試験	口述試験
	11:40～(12:30)		面接試験	
	13:05～14:55	法律専門科目試験／憲法・刑法		
	15:15～17:05	法律専門科目試験／民法・商法		

（注）標準コース及び短縮コースの面接試験は11:40から12:30までの時間帯にて1人あたり10分程度で行います。社会人特別選抜の口述試験は10:00から11:30までの時間帯に1人あたり30分程度で行います（オンライン方式での受験者に対しては、当日の9:30頃から事前接続確認を実施予定）。

7 出願資格事前審査

出願資格⑥，⑨から⑫までのいずれか（I-2～I-3頁記載）により出願しようとする者及び社会人特別選抜の受験を希望する者は，個別に出願資格事前審査を受ける必要がありますので，下記期間内に次の書類を出願書類提出先へ提出してください。

出願資格①から⑤までのいずれか及び⑦から⑧までのいずれかによる申請の場合は，出願資格事前審査の必要はありません。ただし，出願受付時の書類確認で出願資格の証明書類に不備があった場合は受験を認めないことがあります。

(1) 受付期間

	受付期間	備考
A日程	令和7（2025）年6月12日（木）～6月18日（水）	出願資格⑫は審査対象外
B日程	令和7（2025）年8月21日（木）～8月27日（水）	
C日程	令和7（2025）年9月18日（木）～9月24日（水）	

提出期限前日までの消印のあるものは有効とします。

(2) 提出書類

本学所定の様式「出願資格事前審査申請書」及び返信用封筒（受信場所・氏名を明記し、410円分（速達）の切手を貼付した定型内封筒）に次の書類を付して提出してください。

	出願資格 ⑥, ⑨	出願資格 ⑩, ⑪	出願資格 ⑫	社会人 特別選抜	備考
① 最終学校の成績証明書	○	○			
② 最終学校の卒業証明書、修了証明書又は在学証明書 （出願資格⑥により出願する場合は、学士の学位授与証明書）	○	○		○	①に在学期間の記載があれば不要
③ 「大学卒業と同等以上の学力がある」ことを証明する書類 （各種資格試験の合格通知書・資格の内容を説明する書類、論文・レポート、その他の業績）		○			
④ 大学3年次前期までに修得した単位の成績証明書 （出願期間（B日程の場合は試験日）までに成績証明書が発行されない場合は、その旨を記載した書面（様式自由）及び成績通知書等成績が記載された書類）			○		
⑤ 在学証明書			○		
⑥ 学業以外の活動に従事したことを証明する書類				○	

(注) 1 審査結果は審査終了後直ちに通知します。提出された書類は返却しません。

2 外国の学校及び機関等の証明書等には、その和訳及び説明書を添付してください。

3 出願資格ありと認定された場合は出願資格認定通知書を送付しますので、改めて出願手続を行ってください。

8 心身に障がいがある志願者等の事前相談

心身に障がいがあるため受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、各日程の出願資格事前審査申請期間中に、所定の書類を提出の上、相談してください。所定の書類は、「Ⅱ（共通事項）6 その他（2）障がいのある者等の事前相談」を確認してください。

9 合格者発表

合格者は、本法科大学院 Web サイト (<https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/>) 及びオンライン合否照会システム (<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/onlinegouhisyoukai>) において発表します。なお、電話、FAX、E-mail 等による直接の問合せは受け付けません。



【A日程】	令和7（2025）年9月18日(木) 16時（予定）
【B日程】	令和7（2025）年11月6日(木) 16時（予定）
【C日程】	令和7（2025）年12月22日(月) 16時（予定）

10 入 学 手 続

「Ⅱ（共通事項）4 入学手続」を確認してください。

11 入学料及び授業料

「Ⅱ（共通事項）5 授業料等納付金」を確認してください。

12 追 加 合 格

入学手続の結果、標準コースに欠員が生じた場合には、「追加合格」を通知することがあります。

連絡は入学手続終了後、該当者の志願票記載の連絡先に電話で行います。志願者本人が確実に受信できるようにしておいてください。入学手続期間及び手続方法は、別途通知します。

13 入試情報の開示

入学試験の実施状況を次のとおり開示します。

(1) 本法科大学院 Web サイトにおいて、次の内容を掲載します。

- ① 最終志願者数及び最終倍率
- ② 試験問題及び配点
- ③ 合格者数及び内訳
- ④ 成績状況（合格者の最高・最低点及び平均点等）
- ⑤ 入学者の状況

(2) 受験者本人の請求による情報開示

受験者本人の請求があった場合に限り、次の内容を開示します。請求方法は、令和 8（2026）年 3 月下旬に本法科大学院 Web サイトに掲載します。

- ① 面接試験・口述試験の合否
- ② 自己評価書の得点
- ③ 小論文試験の得点
- ④ 法律専門科目の科目ごとの得点
- ⑤ 事前提出課題の得点

[Ⅱ 共通事項]

1 出願手続

(1) 出願方法

① Web 出願の流れ



【注】 出願書類等の郵送については、「Ⅰ（各研究科／養護教諭特別科）」を確認してください。

- Web 出願の詳細は、本学 Web サイトを確認してください。

本学（入試情報）Web サイト

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet_entry



- Web 出願デモサイト

Web 出願を体験できるデモサイトを、本学 Web サイト（本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞入試情報（学士課程）＞Web 出願）に掲載しています。

<https://exam-entry-demo.52school.com/kanazawa-u/net/entry/1>



② Web 出願システムへ出願情報の入力・登録

Web 出願システムへは、本学（入試情報）Web サイト（本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞大学院進学＞Web 出願＞Web 出願システム）

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-kanazawa-u/>

からアクセスできます。



【注】 1 Web 出願システムには、出願期間内（事前登録期間を含む）のみアクセスすることができます。

2 出願の際に登録するメールアドレスは検定料の支払完了通知、出願後の各種連絡及び入学手続に関する連絡用に使いますので、必ず入学手続期間開始前まで受信可能なメールアドレスを登録してください。

3 <日本国外に在住している者>

Web 出願システムの「本人連絡先」には、日本国外の住所を入力できません。「海外連絡先」に入力してください。

③ 出願書類の送付先

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）（宛名ラベルに印字されています。）

(2) 入学検定料の支払

① 入学検定料

大学院：30,000円（別途、Web出願システム利用に係るサービス利用料990円）

養護教諭特別別科：8,300円（別途、Web出願システム利用に係るサービス利用料700円）

【注】 学内進学者（本学の大学院博士前期課程又は修士課程を修了し、引き続き本学の博士後期課程に進学する者）及び国費外国人留学生（出願時に国費外国人留学生制度延長申請中の者を含む）は、入学検定料の支払は不要です。出願前に、「Ⅱ（共通事項）8 問合せ先」まで連絡してください。

② 支払方法

コンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easyでの支払）、クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club）及びネットバンキング（PayPay銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。）のいずれかで支払可能です。

【注】1 支払を完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払前に入力した出願情報（特にメールアドレスや電話番号）に間違いがないか確認してください。

2 銀行窓口での支払はできません。

3 コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。

4 クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。

5 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。

ただし、入学検定料の支払後、出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので、令和8（2026）年3月31日（火）までに手続きを行ってください。検定料返還手続方法は以下のWebサイトで確認してください。

本学（入試情報）Webサイト（本学トップページ>入試情報・高大院接続>検定料免除・返還）

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan/



『自然災害により被災した志願者の検定料免除』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学のを確保するため、検定料免除の特別措置を講じます。対象とする自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細は、本学 Web サイトを確認してください。

本学 Web サイト（本学トップページ>入試情報・高大院接続>検定料免除・返還

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan/

検定料の免除を希望する場合は、出願前に本学学務部入試課まで連絡してください。

連絡先 E-mail：boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp



(3) 出願における注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は、出願を受理しません。
- ② 出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更には応じません。
- ③ 出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ④ Web出願は、出願情報の登録及び入学検定料の支払を行っただけでは、「完了」扱いとなりません。出願期間内に、証明写真のアップロード及び提出書類の郵送（出願期間内に必着）等を済ませ、内容に不備がなかった場合完了とします。なお、提出書類の確認は、出願期間後に実施します。

2 受験票の印刷

受験票は、Web出願システムの「申込確認画面」から印刷が可能です。印刷可能日は「表紙裏 入試日程」を確認してください。

- (1) 受験票には、受験上の注意・試験会場案内が確認できるWebサイトのURL及び2次元バーコードがあります。必ずアクセスして内容を確認の上、受験してください。
- (2) 氏名等に間違いがある場合には、「Ⅱ（共通事項）8 問合せ先」まで連絡してください。
- (3) 試験当日は、A4サイズで印刷した「受験票」を必ず持参してください。（オンライン入試の場合は、お手元にご準備ください。）
- (4) 受験番号は、入学手続にも必要です。それまで「受験票」は大切に保管してください。

3 受験における注意事項

- (1) 志望する研究科・専攻／養護教諭特別別科が課す、すべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。
- (2) 受験のために渡日する必要がある場合、国によっては査証（ビザ）が必要になります。ビザの手続きは各自で行ってください。

4 入学手続

入学手続は、本学Webサイト上の「入学手続システム」から行います。詳細は以下のWebサイトに後日公表する入学手続要項を確認してください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/nyugakutetuzuki>



なお、海外在住の外国籍の者は、合格後に銀行口座残高証明書（残高100万円以上）の提出が求められます（在留資格認定証明書（COE）交付申請のため）。

合格者の区分	入学手続期間
【大学院】10月入学	9月上旬
【大学院】 合格発表が1月までの4月入学	3月中旬
【大学院】 合格発表が2月・3月の4月入学	3月中旬
法科大学院A～C日程 法科大学院特別選抜	1月上旬
法科大学院単位認定試験合格者	3月中旬
養護教諭特別科	3月上旬

5 授業料等納付金

(1) 入学料

大学院	282,000円（予定）
養護教諭特別科	58,400円（予定）

【注】1 本学大学院博士前期課程・修士課程修了後、引き続き博士後期課程に進学する者及び国費外国人留学生は、入学料の納入は不要です。

2 入学料の免除又は徴収猶予については、以下のWebサイトを確認してください。

https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/exemption_grace



(2) 授業料

授業料の納入方法は、本学指定の金融機関が、学生等の開設した預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替制度」です。

口座振替等の手続き等の詳細は、後日公表する入学手続要項を確認してください。

	前期（第1・2クォーター）分	後期（第3・4クォーター）分
大学院（法科大学院を除く）	267,900円	267,900円
法科大学院	402,000円	402,000円
養護教諭特別科	136,950円	136,950円

【注】1 上記の金額は予定額であり、入学時又は在学中に授業料を改定した場合には、改定時から新授業料額を適用します。

2 国費外国人留学生は、授業料の納入は不要です。

3 授業料免除については、以下のWebサイトで確認してください。

https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/tuition_waiver



(3) 本学が義務付けている学生保険

本学では、学生生活における事故に備え、学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）（外国人留学生は、学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総））への加入を義務付けています。いずれの保険も、全国の大学・短期大学の学生を対象とし、公益財団法人日本国際教育支援協会が取り扱っている補償制度です。未加入の場合、課外活動、教育実習、インターンシップ等を許可しないことがあります。

保険料の納付は、後日公表する入学手続要項を確認してください。

学研災：国内外において、①教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故、②通学中、学校施設等での移動中の事故によって身体に被る傷害（ケガ）に対して保険金が支払われます。

付帯賠償：国内外において、正課、学校行事、課外活動又はその往復において、他人にケガを負わせた場合、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害に対し保険金が支払われます。本学では、全学生（留学生を除く）に対し、付帯賠償と学研災の両方への加入が必須です。

外国人留学生は、付帯賠償への加入は不要ですが、代えてインバウンド付帯学総への加入が必須です。

なお、付帯賠償での「課外活動」は、大学がインターンシップ又はボランティア活動の実施を活動目的として承認した団体が行うインターンシップ又はボランティア活動のことをいいます。

課程等	保険料（予定）
修士課程及び博士前期課程 短期（1年）在学型制度	1,340円
修士課程、博士前期課程、教職大学院	2,430円
博士後期課程	3,620円
法科大学院（短縮コース）	5,030円
法科大学院（標準コース）	7,520円
養護教諭特別別科	1,340円

【注】 「教職大学院」は「教職実践研究科」を示します（以下同じ）。

6 その他

(1) 標準修業年限

修士課程及び博士前期課程 短期（1年）在学型制度	1年
修士課程※、博士前期課程※、教職大学院、法科大学院（短縮コース）	2年
博士後期課程※、法科大学院（標準コース）	3年
養護教諭特別別科	1年

※研究科で優れた研究業績を上げた者については、1年以上の在学で修了することが認められる場合があります（教職大学院及び法科大学院を除く）。

(2) 障がいのある者等の事前相談

心身に障がいがあるため、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、各研究科・専攻／養護教諭特別別科毎に定める期限（「Ⅰ（各研究科／別科）」の「障がいのある者等の事前相談」参照）までに次の書類を「Ⅱ（共通事項）8 問合せ先」まで提出し、相談してください。

ア 出願に伴う事前相談書（次の事項について記載したもの。様式は任意）

- ①氏名、住所、連絡先、志望コース・プログラム名
- ②障がいの種類・程度
- ③受験及び修学に配慮を希望する事項
- ④大学等（別科は、看護師養成機関及び高等学校等）で配慮されていた事項
- ⑤日常生活の状況
- ⑥その他参考となる事項

イ 医師の診断書（写しも可）

ウ その他の参考書類等（障害者手帳の写し等）

(3) 経済的支援

入学金免除、授業料減免、金沢大学独自の奨学金制度を含め、さまざまな経済的支援を用意しています。

金沢大学Webサイト>教育・学生支援・学生生活

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/>



①【外国人留学生対象】金沢大学独自の奨学金制度

金沢大学では、外国人留学生を対象として、奨学金制度を設けています。

詳しくは以下のWebサイトを確認してください。

金沢大学Webサイト>国際交流・留学>外国人留学生支援サイト>授業料・経済的支援

<https://intl-support.w3.kanazawa-u.ac.jp/tuition/>



②【博士後期課程対象】金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe⁺)

金沢大学は、我が国そして世界の科学技術の進展及びイノベーションの創出の芽となり、未来社会の創造を担う卓越した博士人材を育成・輩出するため、志高い博士後期・博士課程学生への支援を強化しています。「博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe⁺)」において、博士人材としての活躍を後押ししており、経済的支援に加え、研究専念環境の充実、学際性・国際性の涵養、博士学位取得後のキャリア形成等に向けた支援を提供しています。以下は、本学が実施している博士人材育成事業です。

なお、いずれも我が国の科学技術の進展及びイノベーションの創出に向けた博士学生支援の一環として、国による機関支援を受けて実施している事業であり、事業期間の終了や制度変更により支援内容に変更が生じることがあります。

【給付型奨励金を伴う博士人材育成事業（令和7年度適用）】

		「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成 プロジェクト (HaKaSe ⁺ for SPRING)	金沢大学 AI Open Science 基盤の 知識循環が可能にする 先駆的 AI クロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe ⁺ for BOOST)	
事業内容		研究支援・キャリア形成支援	AI 分野及び AI 分野における新興・融合領域（次世代 AI 分野）の人材育成及び先端的研究開発の推進	
対象研究科		全研究科	全研究科	
課程		博士後期・博士	博士後期・博士	
募集定員		年度により異なる。 大学全体で 160 名前後を支援	2 名/年度	
支援期間（原則）		博士後期課程又は博士課程（4年制）の標準修業年限内	博士後期課程又は博士課程（4年制）の標準修業年限内	
経済的支援内容	博士後期・博士課程	奨励金/月	180,000 円	250,000 円
		研究費/年	400,000 円	900,000 円
	旅費等支援		独自支援有	独自支援有
	授業料免除		半額免除	半額免除
対象制限等		<p>[次のいずれかに該当する者は申請対象外]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本学術振興会特別研究員（DC） ・国費外国人留学生制度による支援を受ける外国人留学生 ・母国の奨学金等の支援を受ける外国人留学生 ・奨学金等（主として生活費相当額の支援を目的とするもの）を受ける者 <p>[次に該当する社会人学生は申請対象外]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属する大学や企業等から生活費相当額として十分な水準（240 万円/年）の給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている者 ・所属企業等から十分な生活費相当額（240 万円/年を基準とする）を受給可能な制度があるにもかかわらず、受給していない者 <p>なお、上記の収入要件とは別に、選抜学生としての研究専念義務を果たし得ない、あるいは本事業におけるキャリア開発・育成コンテンツの取組に専念できる状況にないと判断される場合には、支援対象としない。</p> <p>[外国人留学生]</p> <p>本学大学院博士後期・博士課程修了後、3 年以上、日本の企業、大学、研究所等（在外の現地法人を含む）又は外資系企業の日本国内の事業所に就職することを誓約することが必要</p>		

[HaKaSe⁺担当] 金沢大学学務部学務課 jisedai@adm.kanazawa-u.ac.jp

最新情報は HaKaSe⁺ Web サイトを確認してください。

<https://phd.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



(4) 【外国人留学生対象】外国人留学生の日本就職支援

本学では、留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」として、日本での就職を目指す外国人留学生を対象に、ビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップ教育等のプログラムを提供しています。これらのプログラムを通じて、高度な専門知識と技術を有するだけでなく、日本の企業文化や地域特性を理解した上で、日本企業で活躍できる人材を育成しています。

[問い合わせ先] 金沢大学学務部キャリア支援室「Link KAGAYAKI」事務局
TEL 076-264-6045 E-mail kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp

「Link KAGAYAKI」 Webサイト
<https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



(5) 【大学院（教職大学院及び法科大学院を除く）対象】修了要件としての英語外部検定試験

各研究科では英語能力強化の一環として、原則、入学後に一定の基準（※1）を満たす英語の外部検定試験のスコアを取得することを修了要件の一つとしています。

ただし、以下のいずれかに該当する者は、英語検定試験の受験が免除されます。免除されるためには、「英語検定試験受験免除申請書」を提出し、審査を受ける必要があります。

受験料は学生の自己負担です。

- ①TOEIC(L&R)、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP等一定以上の以上のスコア（※2）を持つ者
- ②社会人特別選抜又は短期（1年）在学型選抜により入学した者
- ③入学後、短期（1年）在学型制度適用者
- ④英語母語話者（一般に英語を公用語とする国に生まれ育ち、英語を第一言語として獲得した者）
- ⑤法学研究科法学・政治学専攻英語による選抜試験により入学した者
- ⑥その他研究科長が特に認めた者

※1：TOEIC(L&R)600点相当

※2：TOEIC(L&R)760点、TOEFL-iBT80点、TOEFL-ITP550点又はIELTS6.0以上のスコアを持つ者

7 個人情報保護

本学では、個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜、入学手続時及び入学後に取得するすべての個人情報は、次の業務等で利用します。

- (1) 入学者選抜及び入学手続に関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料減免、授業料減免、奨学金手続等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入試改革・教育改革に資する目的で個人が特定できない形で行う統計処理、調査研究業務及び学術会議等での発表
- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- (8) 卒業・修了者に対する学修成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) 本人保護等のための緊急対応に関する業務
- (10) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

8 問合せ先

金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）

〒920-1192 石川県金沢市角間町

電話 076-264-5600

E-mail n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

【出願書類様式】

- ① 入学志願票
- ② 併願校に関するアンケート
- ③ 特筆すべき資格等を証明する書類一覧（表紙）

- 出願資格事前審査申請書

令和 8 年度金沢大学法科大学院入学志願票

〔 日程 〕

受験番号	※
------	---

1 志願者の状況

フリガナ 氏 名			
ローマ字			
現住所	〒 TEL E-mail	携帯TEL	
家族等 住所等	〒 TEL E-mail	携帯TEL	(様方)

2 出願区分

出 願 区 分	<input type="checkbox"/> 1. 標準コース (専願)	(1)標準コースの入試区分 <input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 社会人特別選抜 (A日程のみ)	※一般選抜は対面試験のみ (2)社会人特別選抜の口述試験 <input type="checkbox"/> 対面試験 (金沢会場) <input type="checkbox"/> オンライン試験	※標準コース専願者で(1)を選択していない場合は「一般選抜」、(2)を選択していない場合は「対面試験」として取扱います。
	<input type="checkbox"/> 2. 短縮コース (専願)	短縮コース (条件付合格) <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	※選択していない場合は「希望しない」として取扱います。	
	<input type="checkbox"/> 3. 併願	(1)標準コースの入試区分 <input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 社会人特別選抜 (A日程・対面のみ)	(2)短縮コース (条件付合格) <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	※併願で(1)(2)を選択していない場合は「一般選抜」「希望しない」として取扱います。 ※特に(2)は学生募集要項を熟読の上、選択してください
受 験 会 場	1. 金沢会場 2. 東京会場		※ 社会人特別選抜はA日程の金沢会場のみ また、オンライン試験を選択できるのは社会人特別選抜のみ	

3 志願者の経歴 (裏面も記入してください)

法曹コース修了 (又は修了予定) (卒業 (又は卒業見込み) の大学で法曹コースを修了 (又は修了見込み) の場合は左欄に✓を記載してください。)

	入 学 年 月	卒 業 (修了) 年 月	標準修 業年限	学校名等 (高等学校卒業, 大学 (学部, 学科) 入学・卒業, 大学院 (修士, 博士等の課程, 専攻名) 入学・修了を記載してください。)
学	年 月	年 月	年	国 立 公 立 私 立
	年 月	年 月	年	国 立 公 立 私 立
歴	年 月	年 月	年	国 立 公 立 私 立
	年 月	年 月	年	国 立 公 立 私 立
	年 月	年 月	年	国 立 公 立 私 立

- | | |
|--------|--|
| 記入上の注意 | 1 ※印の欄には記入しないでください。
2 該当する事項は○印で囲んでください。
3 外国の大学を卒業した場合は、学歴欄は小学校から記載してください。
4 記入欄が不足する場合は、別紙を追加しても構いません。
5 黒のボールペン又はペンで記入してください。 |
|--------|--|

職 歴	入 社 年 月	退 社 年 月	職 種 ・ 業 務 内 容 (具体的に記載してください。)	勤 務 先 の 名 称
	年 月	年 月		
	年 月	年 月		
	年 月	年 月		
	年 月	年 月		
	年 月	年 月		
	年 月	年 月		
	年 月	年 月		
賞 罰	年 月	名 称	内 容 (具体的に記載してください。)	
	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			

入学者選抜試験出願書類確認表

※提出する書類を☑ (チェック) してください。

- 出願確認票 (提出用) ※WEB出願システムから印刷
- 入学志願票
- 併願校に関するアンケート
- 出身大学の卒業 (見込) 証明書
- 出身大学の成績証明書
- 自己評価書
- 特筆すべき資格等を証明する書類一覧 (表紙)
- 特筆すべき資格等を証明する書面の写し一式
- 同一人物であることを証明する書類 (婚姻等により改姓・改名された方のみ。)
- 学位授与証明書 (出願資格②により出願される方のみ。)
- 出願資格認定通知書の写し (出願資格⑥, ⑨から⑫までのいずれかにより出願される方のみ。)

併願校に関するアンケート

他の法科大学院を併願している場合は、次の欄に併願校と未修・既修の別について、本法科大学院を含めて記載してください。なお、これらは記入するしないにかかわらず、本法科大学院入学者選抜試験における記入者本人の試験成績及び合否判定に考慮されることは一切ありません。

志望順位	大 学 名	未修・既修の別	志望順位	大 学 名	未修・既修の別
1	大学	1.未 2.既	6	大学	1.未 2.既
2	大学	1.未 2.既	7	大学	1.未 2.既
3	大学	1.未 2.既	8	大学	1.未 2.既
4	大学	1.未 2.既	9	大学	1.未 2.既
5	大学	1.未 2.既	10	大学	1.未 2.既

特筆すべき資格等を証明する書類一覧(表紙)

受験番号	※
------	---

以下の書類について、写しの提出があるものについては、原本と相違ありません。

志願者氏名 (自署)

番 号	証 明 書 の 名 称	枚 数
1		枚
2		枚
3		枚
4		枚
5		枚
6		枚
7		枚
8		枚
9		枚
10		枚

- ※ 婚姻等により改姓・改名した場合は、同一人物であることを証明する公的書類（戸籍抄本等）を表紙の次に綴じ込んでください。
- ※ 各証明書の右上に、対応する証明書番号を必ず記載してください。
- ※ 証明書が厳封されている場合は、開封せずに、封筒表面に証明書番号を記載してください。
- ※ 証明書が 10 通を超える場合は、この表紙をコピーして使用してください。

入学者選抜試験出願資格事前審査申請書

認定を希望する出願資格番号を右欄に記載

(学生募集要項の「I3 出願資格」参照)

社会人特別選抜の受験を希望する場合は右欄にチェックを記載

(あて先) 金沢大学大学院法学研究科長

金沢大学大学院法学研究科法務専攻（法科大学院）入学者選抜試験に出願を希望します。
 ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。

年 月 日

フリガナ

氏 名(自署)

男・女

生年月日

年

月

日

(歳)

現住所		〒		TEL	
現職	勤務先 (学校名)				
	職名 (学年)				
	所在地	〒		TEL	
学歴	入学年月	卒業(修了)年月	標準修業 年限	学校名等(高等学校卒業から記載してください。ただし、外国の大学を卒業した場合は、学歴欄は小学校から記載してください。)	
	年 月	年 月	年	国立 公立 私立	
	年 月	年 月	年	国立 公立 私立	
	年 月	年 月	年	国立 公立 私立	
	年 月	年 月	年	国立 公立 私立	
	年 月	年 月	年	国立 公立 私立	
職歴	入社年月	退社年月	職種・業務内容 (具体的に記載してください。)		勤務先の名称
	年 月	年 月			
	年 月	年 月			
	年 月	年 月			
	年 月	年 月			
	年 月	年 月			

※ 裏面も記入してください。記入欄が不足する場合は、別紙を追加しても構いません。

金沢大学所在地略図



試験場(金沢大学角間キャンパス)へのアクセス

【路線バス利用の場合】

JR金沢駅兼六園口(東口)⑧乗場バスターミナルから
「金沢大学(角間)」行き(路線番号93, 94, 97)乗車,
「金沢大学」(終点)下車, 徒歩1分(試験場までの所要時間は, 通常約40分)

※「金沢大学中央」で下車した場合は徒歩で5分程度かかります。

【タクシー利用の場合】

JR金沢駅兼六園口(東口)から通常約30分

【小松空港まで航空機を利用の場合】

小松空港—金沢駅連絡バスがあります。